

No.55

平成29年12月定例会

とやま

市議会だより

発行日 平成30年(2018年)2月5日

発行 富山市議会

編集 議会報編集委員会

TEL 443-2158 FAX 443-2196

ホームページ <http://www.city.toyama.toyama.jp>メールアドレス gijityousa-01@city.toyama.lg.jp

富山市議会12月定例会の様子

主な内容

12月定例会の概要 可決した主な議案等	2
会派別賛否一覧 委員会・諸会議	3
常任委員会	4
決算特別委員会	5
一般質問	6
議員研修会 政務活動費の領収書公開等	11
行政視察報告 アンケート 編集後記	12

市議会の詳しい情報は、ホームページをご覧ください。

富山市議会

検索

富山市議会
ホームページ市立探検ペロリッ
©TOYAMACITY/DLE

今回は、アンケートがあるよ！
わんわん！

平成29年12月定例会の概要

4億9,084万余円の補正予算等を可決

平成29年12月富山市議会定例会は、12月1日から19日まで19日間の会期で開かれました。平成29年度補正予算案件、条例案件、契約案件、意見書等について審議し、合わせて27議案が原案のとおり決まりました。また、継続審査となっていた平成28年度一般会計、特別会計、企業会計の決算認定議案等については、いずれも認定、原案可決されました。

定例会の日程

12月1日	本会議（提案理由説明ほか）
12月6日	本会議（一般質問） 7人
12月7日	本会議（一般質問） 7人
12月11日	本会議（一般質問） 8人
12月12日	本会議（一般質問） 6人
12月13日	商工農林水産委員会・建設委員会
12月14日	総務文教委員会・厚生委員会
12月15日	商工農林水産委員会・建設委員会
12月18日	総務文教委員会・厚生委員会
12月19日	本会議 （委員長報告・質疑・討論・採決ほか）



一般質問の様子

インターネットで本会議の生中継および録画中継を閲覧できます。

※録画中継は、各本会議終了後、おおむね4日後（土・日および祝日を除く。）からご覧いただけます。

可決した主な議案

■予算案件

○平成29年度富山市一般会計補正予算補正額

①台風被害に伴う修繕・復旧等の経費

【主な施設】

老人福祉施設 水橋フィッシャリーナ 水橋漁港 道路施設 街路樹 都市公園 小・中学校

②その他の事業

- ・電子申請システム導入業務委託料
- ・富山市ふるさと納税支援業務委託料
- ・企業立地奨励事業補助金
- ・富山駅北口駅前広場修景施設実施設計業務委託料
- ・放課後等デイサービス事業など扶助費

○平成29年度富山市特別会計補正予算（8会計）補正額

4億6,159万8千円

1億6,326万4千円

41万4千円

70万円

93万3千円

1,506万円

2億 100万円

2,924万9千円



委員長報告の様子

■条例案件

- 富山市斎場条例の一部改正
- 富山市八尾ゆめの森交流施設条例の一部改正
- 富山市林道条例の一部改正
- 富山市路面電車施設条例の一部改正
- 富山市営住宅条例の一部改正

■契約案件

○工事請負変更契約締結の件

- ・八田橋（上流側）架替工事

■その他の議決案件

- ・財産取得の件 防災行政無線設備



八田橋架替工事の様子（永楽町外地内）

請願

審議された請願の結果は、次のとおりです。

請願とは、市政などについて意見・要望がある場合などに、議員の紹介を得て、文書にまとめて市議会に提出することです。

【新規】森林・林業・木材関連政策の推進を求める意見書の提出を求める請願	不採択
【新規】政務活動費の議員個人への完全後払いに向けた請願	不採択
【新規】事後審査による政務活動費の支払いも認めることを求める請願	不採択
【新規】政務活動費の審査に関わる第三者機関の早期廃止に関する請願	不採択

意見書

次の意見書を可決し、国会および関係行政庁などへ提出しました。

意見書とは、市の公益に関することについて議会の意思を意見としてまとめた文書のことです。

安全・安心の医療・介護の実現と勤務環境の改善を求める意見書
障害者（児）の生きる基盤「暮らしの場」の整備を求める意見書

議案・意見書・請願の会派別賛否一覧

賛否が分かれた議案等については、次のとおりです。

表中の見方：「○」＝賛成 「×」＝反対

件 名	議決結果	自由民主党 (22人)	公明党 (4人)	社会民主党 議員会 (3人)	日本共産党 (2人)	会派 誠政 (2人)	光 (2人)	日本 維新の会 (2人)	フォーラム 38 (1人)
議案第130号 富山市斎場条例の一部を改正する条例制定の件	原案可決	○	○	×	×	○	○	×	○
認定第1号 平成28年度富山市一般会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	×	○	○	○	○
議員提出議案 第22号 慎重な憲法論議を求める意見書	否決	×	×	○	○	○	○	×	×
議員提出議案 第23号 労働者の声を踏まえた真の「働き方改革」の実現を求める意見書	否決	×	×	○	○	○	○	○	×
平成29年分 請願第14号 森林・林業・木材関連政策の推進を求める意見書の提出を求める請願	不採択	×	×	○	○	○	○	○	○
平成29年分 請願第16号 政務活動費の議員個人への完全後払いに向けた請願	不採択	×	×	○	○	×	○	○	○
平成29年分 請願第17号 事後審査による政務活動費の支払いも認めることを求める請願	不採択	×	×	×	○	×	○	○	○
平成29年分 請願第18号 政務活動費の審査に関わる第三者機関の早期廃止に関する請願	不採択	×	×	1人○ 2人×	○	×	○	○	○

全ての議案に対する議員個人ごとの賛否の一覧表を富山市議会のホームページに掲載しています。

また、本会議で、賛成討論・反対討論があったものについて、一覧表の中に討論の要旨も掲載しています。▶



委員会・諸会議

定例会中の本会議や常任委員会のほかにも、委員会等を開催し、市政についての課題や、議会改革などについて協議しています。

月日	委員会等	協議事項等
10月11日	一般・特別会計決算特別委員会	・平成28年度富山市一般・特別会計（消防局、市民生活部、環境部）
12日	一般・特別会計決算特別委員会	・平成28年度富山市一般・特別会計（議会事務局、都市整備部、建設部）
24日	議会改革検討調査会	・予算案などの議案に対して、各会派が原則、討論を行うこと ・効率的な議会運営 ・委員会資料、議会資料のインターネット公開 ・委員会資料（報告事項に係るもの）の早期配付 ・富山市議会としての記者会見の実施 ・模擬議会の実施
25日	企業会計決算特別委員会	・平成28年度富山市水道事業会計 ・平成28年度富山市工業用水道事業会計 ・平成28年度富山市公共下水道事業会計
31日	一般・特別会計決算特別委員会	・平成28年度富山市一般・特別会計（選挙管理委員会、教育委員会、福祉保健部）
11月1日	議会運営委員会	・12月定例会の運営 ・議会改革検討調査会の協議結果 ・代表質問の質問時間
	各派代表者会議	・議会改革検討調査会の協議結果
2日	企業会計決算特別委員会	・平成28年度富山市病院事業会計
13日	一般・特別会計決算特別委員会	・平成28年度富山市一般・特別会計（監査委員事務局、企画管理部、財務部）
21日	一般・特別会計決算特別委員会	・平成28年度富山市一般・特別会計（農業委員会、商工労働部、農林水産部）
24日	議案説明会	・12月定例会提出予定案件の概要
29日	まちづくりと公共交通対策特別委員会	・大手モールフェスおよびトランジットモールの社会実験 ・富山市公共施設マネジメントアクションプラン（素案）
	議会改革検討調査会	・改革実施項目の事後検証（PDCAサイクル） ・議会改革の本市議会の客観的な立ち位置の研究 ・政策検討会議の設置 ・議会主催の議会報告会・意見交換会の開催 ・請願・陳情者の意見陳述の制度化
12月1日	各派代表者会議	・議会改革検討調査会の協議結果 ・議会基本条例に関する議員研修会 ・政務活動費の支出に係る領収書等の証拠書類のインターネット公開
	厚生委員会	・民営化対象保育所の選考に関する答申
4日	議会運営委員会	・12月定例会の運営
	議会報編集委員会	・とやま市議会だより（No.55）の表紙、アンケート、編集後記などの掲載内容
11日	議会運営委員会	・会派から提出された意見書（案）・決議（案）
14日	議会運営委員会	・意見書・決議
18日	議会運営委員会	・12月定例会の運営
20日	議会基本条例に関する議員研修会	・議会基本条例の意義、目的 ・議会基本条例の課題、問題点
26日	議会報編集委員会	・とやま市議会だより（No.55）の発行

本会議の会議録は、富山市議会のホームページでご覧いただけます。

平成29年12月定例会の会議録は、平成30年2月下旬に掲載する予定です。なお、会議録の冊子は、市立図書館（本館およびC i Cビル4階とやま駅南図書館）や市役所東館3階の市政情報コーナーで、閲覧することができます。

委員会・諸会議の議事録も、富山市議会のホームページでご覧いただけます。

総務文教委員会

平成29年度富山市一般会計補正予算、富山市企業立地の促進等による産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定の件など3件については、いずれも原案のとおり「可決」「承認」した。

★政務活動費の議員個人への完全後払いに向けた請願（第16号）、事後審査による政務活動費の支払いも認めることを求める請願（第17号）、政務活動費の審査に関わる第三者機関の早期廃止に関する請願（第18号）

反対討論 議論のプロセスやルールが定まっている案件について請願の紹介議員となり採択を求める行為は、議会全体で定めたルールに基づき取り組んでいることを自己否定し、自己矛盾を来すものであり、行うべきではない。一方で、市民が請願を行うことは、市民の権利として当然尊重されるべきものであるが、議会が請願を採択することは、現在の取り組み状況等を勘案して総合的に判断されるべきものである。

賛成討論 会派への先払い制が残っている限り、不適切な支出はなくなる。使わない議員の分を会派やほかの議員が使い切ろうとすることなども防ぐために、議員個人への完全後払いを確立しておくことが必要である。（第16号）

議員個々の判断で動ける範囲を広げることは、議員だけではなく、会派の活動、議会の質の向上にもつながる。より柔軟な政務活動を行えるようにするために、事後審査のみの承認制を取り入れるべきである。（第17号）

第三者機関を継続する必要があるのかという意見は当初からあったが、その検討についてめどが立っておらず、市民から必要性の是非を問われている。早期に第三者機関の見直しを行うべきである。また、全ての議員が政務活動費の正しい使い方を守っていけば、いつまでも必要なものではない。（第18号）

結果 不採択すべきものと決した。

厚生委員会

平成29年度富山市一般会計補正予算、特別会計補正予算、富山市斎場条例の一部を改正する条例制定の件など8件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

★ひとり親家庭学習支援事業

委員 27年度から実施しているこの事業について、30年度以降、改めて公募型の提案競技により事業者を選定する理由は。

市 当初より富山市母子寡婦福祉連合会に委託してきたが、30年度以降に実施場所を1カ所増やすことにより学習ボランティアの確保が非常に困難な状況となる。今後、本事業を拡充して柔軟に対応するためにも、公募型の提案競技に切り替えた。

委員 学習習慣を身に付けるという視点からも非常に良い事業である。現状は中学生が対象だが、対象拡大を検討してほしい。

★富山市斎場条例の一部を改正する条例制定の件

反対討論 富山市斎場の式場や会館は、利用料が低いため経済的な負担が軽く、参列者が少ない家族葬や火葬中に法要を行う葬送習慣にも対応できていると考える。耐震性を備えていないため利用者の安全確保ができないとする一方で、30年4月1日以降、式場は火葬場利用者の待合室として、会館は職員が今後も使用することを考慮すると、その理由が機能を廃止する根拠とはならない。

賛成討論 建設から50年が経ち、老朽化が進んでいる。耐震診断で重要とされるI s値について、公共施設は0.7を超えることが望ましいと言われているが、式場棟は0.29、会館棟は0.32であり、地震に対して倒壊または崩壊する危険性が高いと言われる状態にある。利用者の生命や身体的安全確保のため、改正に賛成である。

結果 原案のとおり可決した。

商工農林水産委員会

平成29年度富山市一般会計補正予算、富山市八尾ゆめの森交流施設条例の一部を改正する条例制定の件など8件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

★水橋フィッシャリーナ水面係留施設等の復旧工事

委員 台風21号の影響により破損した、施設等の復旧工事のスケジュールはどのようになっているのか。また、フィッシャリーナ利用契約者には、周知を行っているのか。

市 施設等の復旧については、復旧基本構想を30年1月頃までに策定する予定で、その後、陸上での工事に取りかかる予定である。海面での工事は、ホタルイカ漁への影響に配慮し、30年7月頃から取り組む予定で、秋頃までには復旧したいと考えている。

また、フィッシャリーナ利用契約者には、29年11月に説明会を開き、復旧見込み等の説明を行っている。



台風による高波を受ける水橋フィッシャリーナ

建設委員会

平成29年度富山市一般会計補正予算、富山市路面電車施設条例の一部を改正する条例制定の件など9件については、いずれも原案のとおり「可決」「同意」「異議なしとの意見」とした。

決算特別委員会

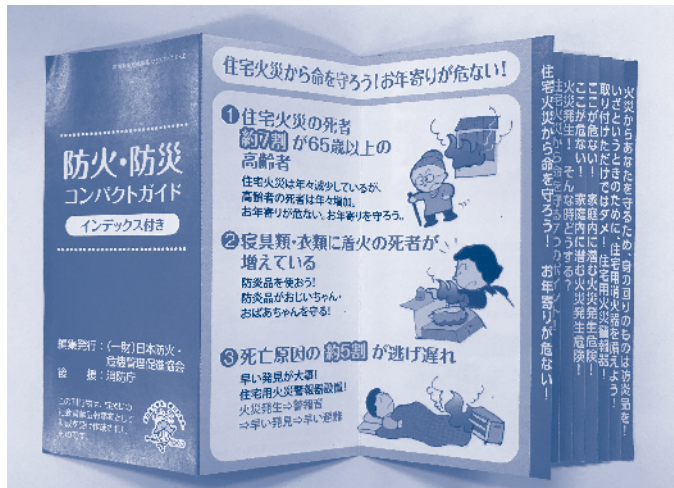
19日の本会議では、2つの決算特別委員会の委員長が審査の経過と結果を報告しました。その内容の一部を掲載します。

一般・特別会計決算特別委員会

平成28年度富山市一般会計歳入歳出決算、平成28年度富山市公債管理特別会計歳入歳出決算など16件については、いずれも「認定」した。

★防火の手引き

委員 防火・防災に関する全てのことを網羅したパンフレットであり、消防総合訓練の講評の際に配布するなど、より効果的な周知に努められたい。



消防局で配布しているパンフレット

★スクールソーシャルワーカー

委員 複雑な事情を抱える家庭が増えている中で、家庭を訪問したり、警察や児童相談所などの関係機関と連携を図るなど、児童・生徒や家庭、学校を支援しており、必要に応じて増員や環境改善をお願いしたい。

★24時間子育て相談電話対応事業

委員 子育て家庭に対する育児相談の充実を図るため、面接相談や24時間対応の電話相談を行っているが、誰にも相談できないときの電話相談は大変重要であり、相談内容は幅広いと思うが、質の高い回答をされるよう努められたい。

★富山デザインフェア

委員 国内トップデザイナーをセミナーの講師に迎えるなど、デザインの分野を志す人にとっては成果があったとのことだが、一般市民にもデザインの魅力をより広く伝えられるよう努められたい。



富山デザインフェア2017の様子

★多面的機能支払交付金事業

委員 活動した人の日当なども支払われることや、周辺の環境も良くなるという非常に良い事業であるが、実施率があまり高くないように思うので、丁寧な説明を行い、事業の実施率が上がるよう努められたい。

★平成28年度富山市一般会計歳入歳出決算

反対討論 税金の使い方について、コンパクトシティ政策で、中心部への偏重が際立っているが、市街地再開発事業の中で、開業後に早々と店舗が撤退したり、今も空き店舗が埋まらない等、効果に疑問があり、市民の理解が得られるとは思えない。このように、市の考えを住民に押し付けるのではなく、地域住民主体の市政へと転換するべきである。

賛成討論 まちなか再生推進事業の重点政策の1つである市街地再開発事業費補助金は、まちなかに新たなにぎわいを創出し、中心市街地の活性化を図る狙いがある。この政策の効果もあって歩行者通行量が年々増加しており、近年、県外からの転入者も増加していることから、「にぎわいと交流の都市空間の整備・充実」の実現に向けて重要な役割を担っている。

結果 認定することに決した。

企業会計決算特別委員会

平成28年度富山市水道事業会計決算、平成28年度富山市水道事業会計未処分利益剰余金の処分の件など7件については、いずれも「認定」、原案のとおり「可決」した。

★病院事業会計

委員 28年度における医師初期臨床研修（基幹型）のマッチングに関して、募集定員6名に対して、応募が1名と定員に満たなかった原因として、立地や救急・手術件数の多さなど、市民病院の魅力について研修医に十分に伝わらなかったことや医局の老朽化の影響があったのではないかとのことであるが、研修医からも選ばれるような病院になることが、市民の医療に資することだと考えるので、今後、改善に努められたい。

★水道事業会計、工業用水道事業会計、公共下水道事業会計

委員 消化ガスや汚水の熱エネルギーといった未利用エネルギーについて、28年度も将来の発電開始や冷暖房への有効活用などに鋭意取り組まれたことは、喜ばしいことであり、今後も環境未来都市として素晴らしい成果が上がるよう、着実に事業を進められたい。



上下水道局で販売している「とやまの水」

学校施設の耐震化の方針

有澤 守 (自由民主党)



問 耐震補強の調査結果を受けて、今後の事業の方向性や手順はどうなるか。

答 耐震補強が可能な2校は、本年度より設計に着手する。耐震補強不可と判明した6校は、棟によっては耐震性能を有するものもあるため、耐震性能を有していない棟のみ、改築を行いたい。工事の必要な範囲が小さい月岡小学校は、来年度に実施設計を行い、続いて改築工事を実施する。工事の対象範囲が大きい5校は、来年度に教室の配置計画などを含む基本設計を行った上で、実施設計から改築工事へと進めていく。(教育委員会事務局長)

【質問項目】

▼平成30年度予算編成と電気料金の値上げ ▼学校施設の耐震化の方針
▼学校施設整備 ▼学校給食の民間委託 ▼就学援助金の入学準備金

富山市の魅力を上げるふるさと納税

横野 昭 (自由民主党)



問 方針を見直し返礼品を送付することとした理由について、市長の見解は。

答 これまでは、過度な返礼品競争への違和感から、美術館等への招待券のみ送付してきた。しかし、総務省が返礼品の上限額を寄付額の3割以下とするよう通知したことや、市民の他自治体への寄付による減収が顕著となってきたこと、地域産業の発展への思い等から、ライトレールの運転体験と併せて特産品も送るなど、富山市なりの返礼品を用意し、全国で本市の施策を応援する方々から寄付していただく機会を広げていきたいと考えた。(市長)

【質問項目】

▼ふるさと納税 ▼地域コミュニティと文化
▼台風21号の災害避難状況

中心市街地活性化

高田 重信 (自由民主党)

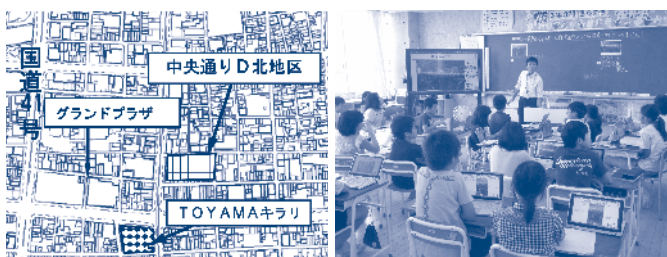


問 中央通りD北地区市街地再開発事業の現状と今後のスケジュールは。

答 再開発準備組合では、共同住宅やスケート場を核とした施設構成案を検討しており、来年度には施設の用途・規模などを定める都市計画決定を目指している。その後、事業を詳細に検討する事業計画作成業務にも着手し、おおむね5年後の完成を目指したいとの意向を聞いている。本市としては、権利者の同意状況や事業の確実性を見極めながら、進捗に応じた支援を行っていききたい。(都市整備部長)

【質問項目】

▼魅力ある都市づくり ▼市民病院



中央通りD北地区の位置図

タブレットにもなるパソコンでの授業の様子



破損した水橋漁港の転落防止柵

ウルトラ高齢社会の政策

佐藤 則寿 (公明党)



問 超高齢社会をはるかにしのぐ日本の実態をウルトラ高齢社会と呼ぶ学者もいるが、高齢者の移動手段確保のための交通政策として、住民ドライバーによる移動サービスを導入することについての見解は。

答 本市では、鉄軌道やバスの運行のほか、タクシーが全域で運行されていることなどから、導入は難しいと考えている。今後とも、地域特性や需要などを踏まえ、さまざまな関係事業者の協力や理解を求めながら、ボランティア輸送など新たな公共交通サービスについても調査研究していきたい。(都市整備部長)

【質問項目】

▼第4次安倍内閣の発足 ▼防災対策 ▼ウルトラ高齢社会の政策
▼肝炎の重症化予防 ▼新婚・若者世帯への記念事業
▼ガラス美術館と図書館の利用

水橋沿岸部の防災力強化

押田 大祐 (自由民主党)



問 台風21号により破損した防波堤の災害復旧に向けて、現在の取り組み状況と今後のスケジュールは。

答 西防波堤の災害復旧については、防波堤施設の復旧方法等について、国や県と協議を進めてきているところである。

今後は、災害復旧事業の査定を受け、工法等が決定されることになっており、その後、30年春頃に工事発注を行い、秋頃の復旧完了を目指していきたいと考えている。(農林水産部長)

【質問項目】

▼台風21号の被害からみる水橋沿岸部の防災力強化

保育士への市独自の上乗せ賃金補助

村石 篤（社会民主党議員会）



問 国が行った保育士賃金の一律2%アップに加え、本市独自で私立保育所の保育士に一律2%上乗せの補助をしてはどうか。また、その際に必要な財源の額は。



答 市では、これまでも国の処遇改善に合わせて保育士の賃金アップを図ってきたが、保育士不足に対しては、賃金だけでなく、さまざまな課題に総合的に取り組んでいく必要があると考えており、市独自で上乗せの補助を行うことについては、現時点では考えていない。

市単独で私立保育所の保育士に一律2%補助した場合は、1億円程度の財源が必要になる。（こども家庭部長）

【質問項目】

▼保育所 ▼放課後児童健全育成事業 ▼路面電車の南北接続事業（運行）
▼「会計年度任用職員制度の導入に向けた事務処理マニュアル」など
▼非常勤職員の公務災害 ▼教育委員会職員の労働時間管理

教育のICT（情報通信技術）化

尾上 一彦（会派 誠政）



問 早い段階からICT機器に慣れ親しむことが大切だと考えるが、本市での教育のICT化について教育長の考えは。



答 AI時代に対応できる能力を育てることが学校教育の役割の一つと考える。これまで全小中学校にノートパソコン等を配置し、28年度からタブレットとして持ち運びができるハイブリッドパソコン等も導入した。32年度からのプログラミング教育実施に向けて、今後さらに環境整備と教員の指導力向上に努めていく。子どもたちが情報活用能力等を確実に身につけることができるよう取り組んでいきたい。（教育長）

【質問項目】

▼教育関係 ▼ふるさと納税 ▼国際連携事業等
▼歩いて暮らせるまちづくり

少子化対策の各段階に応じた支援

金谷 幸則（自由民主党）



問 子育て世代の住環境改善策として、3世代同居への支援は。



答 本市は3世代同居率が高い都市であるが、コンパクトなまちづくり実現のための、まちなかや公共交通沿線への居住推進の取り組みのうち、公共交通沿線住宅取得支援事業では、60歳以上の高齢者を含む4人以上の世帯の場合に上乗せ補助を、リフォーム補助事業では、3世代同居などにより世帯員が増加する場合に補助を行っている。これらの事業は、3世代同居への支援にもつながっているものと考えている。（市長、都市整備部長）

【質問項目】

▼富山市における少子化対策の各段階に応じた支援

自主防災組織

高道 秋彦（自由民主党）



問 自主防災組織率向上のための取り組みは。



答 自主防災組織の結成に向け、①職員による出前講座②町内会などでの説明会③啓発パンフレットの配布④広報とやまでの周知一等を行ってきた。また、今年度から富山県防災士会の協力を得て、豊富な知識と経験を持つ防災士をアドバイザーとして派遣し、さまざまな助言を行うための制度を設けている。市としては、これらの活動や制度の周知を行い、今後とも継続して自主防災組織の結成を働きかけ、地域防災力の向上に努めていきたい。（建設部長）

【質問項目】

▼自主防災組織 ▼消防団の取り組み ▼食物アレルギー
▼福祉医療費請求書の電子データ化 ▼「ジージ・バーバの孫育て手帳」
▼「企業内託老所」設置

鳥獣被害（ニホンザル）対策

江西 照康（自由民主党）



問 電気柵以外の対策について、今後の取り組みは。



答 ニホンザルは富山県ニホンザル管理計画により、駆除の頭数が制限されているため対策が困難である。さらに日没以降や家が遠なっている所では銃を使うことができず、民家の近くまで来てしまう。電気柵だけでの対処は難しいので、追い払い効果のある電動エアガンの研修会の実施も含め、できる限りの対策を講じていきたい。（市長）



民家周辺の柿を餌にするサル

【質問項目】

▼富山駅軌道南北一体化後の運賃 ▼視覚障害者への行政サービス
▼鳥獣被害（ニホンザル）対策 ▼ネイティブスピーカーふれあい事業

立山山麓スキー場

泉 英之（自由民主党）



問 立山山麓スキー場の将来展望について、市長の見解は。



答 スキー場に限定せず、立山山麓全体は大変重要な場所であり、ポテンシャルはあると思っている。したがって、合併以後この地域に27億円の投資を行い、行政としてはやるべきことをやってきたと考えており、これからも必要なことは行っていきたい。その上でやはり大事なことは、事業者の事業意欲であり、それをしっかり発揮していただき、持続するよう皆で協力して頑張っていかなければならないと思っている。（市長）

【質問項目】

▼“富山の水” ▼薬師岳登山口（折立）臨時駐車場の整備
▼立山山麓ゴンドラリフト安全調査の結果

おいしいとやま食べきり運動

金井 毅俊（日本維新の会）



問 おいしいとやま食べきり運動の協力店の数の推移や、取り組みの依頼、イベントの開催などの実施状況は。

答 協力店は、22年度は725店で、29年11月末では店舗廃業等により515店となった。取り組みの依頼は、①家庭では冷蔵庫内の確認や賞味期限の確認②職場では宴会時の声かけ③市内の小中学校では給食時の校内放送④協力店ではポスター掲示や小盛りメニュー、お客様への声かけ等をお願いしている。イベント時にはパネル展示やアンケート、ゲーム等を行いPRに努めている。（市民生活部長）

【質問項目】

▼おいしいとやま食べきり運動

農業・農村振興

竹田 勝（自由民主党）



問 農業・農村振興について、市長の見解は。

答 大規模営農に集約化していく道以外はないと思っている。また、本市農業はコメに特化しているため、どのようにして付加価値の高いコメを作り、産業として成立するような農業にしていけるかが大事な視点である。一方、種もみなどのようにコメとして出荷する以外の方向性も模索していく必要がある。農業経営安定のための補償については、営農の仕方により農業共済制度か収入保険制度のどちらを選択するかは、よく考えてほしい。（市長）

【質問項目】

▼富山市農業・農村振興

市税徴収の課題

高田 真里（自由民主党）



問 収納率向上に向けたシステム改修、人員配置を含めた組織の見直しなどの今後の取り組みは。

答 今後一層の収納率向上を目指すには、まず、人事異動があっても滞納整理事務が円滑に効率よく継続して実施できるよう、さまざまな研修を行い、より一層の税制に関する知識や、滞納整理のノウハウの習得に努めたいと考えている。また、システム改修による事務の効率化や、人員配置を含めた組織の見直しについては、他都市の状況を調査しながら、検討していきたい。（財務部長）

【質問項目】

▼「いじめ」対策 ▼市税徴収の課題 ▼介護予防・日常生活支援総合事業

医療的ケアを必要とする障害児の支援

上野 蛍（光）



問 医療的ケア児の支援が必要と考えるが、市の見解は。

答 医療的ケア児については、「障害児福祉計画」を策定する際の国の基本指針において、包括的な支援体制の構築が規定された。29年8月の計画策定懇話会において情報を共有したところ、課題として①医療的ケア児への接し方や保育の仕方の理解が深まっていない②受け入れ体制が整っていない③関係機関の連携体制が十分ではない—等の意見が出た。現在策定中の第1期計画に医療的ケア児の支援を位置付け、具体策を検討していきたい。（福祉保健部長）

【質問項目】

▼障害児の支援 ▼通学路の安全の確保
▼県の性暴力被害ワンストップセンターと市の連携

富山グラウジーズへの支援

久保 大憲（自由民主党）



問 富山グラウジーズから、市民を対象にしたイベントの開催について提案があった場合、市としてどのような協力ができるのか。

答 先日、富山グラウジーズ側からホームゲームにおける「富山市の日」の開催について、協力の依頼を受けたところである。本市が協力できるかどうかについては、プロスポーツを支援する目的に照らし、開催目的や依頼内容を精査した上で、今後、検討していきたいと考えている。（市民生活部長）

【質問項目】

▼富山グラウジーズの支援 ▼南海トラフ大地震発生時の被災者受け入れ
▼PDCAサイクルの実践状況

流木被害の対策

石森 正二（自由民主党）



問 森林の荒廃により下層植生の成長や木の根の発達が妨げられ土壌を保持する力が弱くなり、崩壊土砂と一緒に樹木が流される可能性があると思うが、対策は。

答 樹木の下層植生を旺盛にし、樹木の根が土壌を保持する力を強くするには、森林内の空間を確保し適度な光が差し込む環境を作ることが大切である。

市では、国や県の森林整備事業を活用し、手入れが必要な市内の森林において、計画的な間伐や枝打ち等を実施しており、今後も台風や大雨等に強い森づくりに努めていきたい。（農林水産部長）

【質問項目】

▼流木被害の対策 ▼中山間地域の農地の活用 ▼学校教室の環境整備

市の臨時・アルバイト職員等の処遇改善

小西 直樹（日本共産党）



問 最低賃金に近い職員および子ども会指導員の待遇改善についての見解は。

答 臨時職員等の賃金は、最低賃金や他自治体および民間の実態などを踏まえ、改善に努めてきたが、今後も社会経済情勢に見合ったものとなるよう努めていきたい。28年度の地域児童健全育成事業（子ども会）への委託料のうち、ボランティア指導員への報酬については、年度当初の最低賃金の額を参考にした時間単価を基に算定している。28年10月に最低賃金の改正があったが、支払い済みの委託料を再算定する考えはない。（企画管理部長、こども家庭部長）

【質問項目】

- ▼国民健康保険の都道府県単位化
- ▼市の業務に関わる臨時・アルバイト職員の処遇改善
- ▼入学準備金の入学前支給

横断歩道橋の在り方

松井 邦人（自由民主党）



問 通学路に指定されている歩道橋について、撤去・存続などの方向性を小中学校などと議論していくべきでは。

答 平成4年設置の八尾駅横断歩道橋を除く全てのものについて通行量等の実態調査を行った。市が管理するもので撤去・存続を検討する必要がある場合には、撤去した場合の影響や景観などを考慮し、地元や小中学校等と事前に協議していく。また、国や県が管理するものについては調査結果の情報提供を行う予定であり、各管理者の判断に基づき、本市と同様に地元の関係者と協議がなされるものと考えている。（市長）

【質問項目】

- ▼横断歩道橋の在り方
- ▼小中学校に対する避難訓練の在り方



市内にある横断歩道橋



間伐など森林整備の様子



事業承継等に関するパンフレット

中心市街地における駐車場の状況

大島 満（フォーラム38）



問 民間のコインパーキングが増加していると感じるが、中心市街地のさらなる活性化に向けて設置を規制できないか。

答 法令に基づき、駐車スペースの総面積が500㎡以上の時間貸し駐車場等は、市への届け出が必要となり、駐車スペースの寸法や出入り口の位置等は指導しているが、設置そのものは規制できない。また、法令に基づく届け出の対象とならない小規模なコインパーキングにおいても、遊休地の有効活用の一つとして、所有者が自発的に設置するものであり、個人の財産に規制をかけることはできない。（都市整備部長）

【質問項目】

- ▼大手モールフェスおよびトランジットモール社会実験
- ▼中心市街地における駐車場の状況
- ▼地籍調査等

健康経営の推進

松井 桂将（公明党）



問 健康経営を目指す企業に対して支援が必要と考えるが、見解は。

答 経営的視点から、健康経営に取り組む企業は増加している。国においても、ワーク・ライフ・バランスの推進等の要件を満たす企業を健康経営優良法人等と認定しており、認定を受けた企業は、働きやすさや業績向上への期待感等イメージアップが図られ、優秀な人材の確保や投資先としての優位性が得られると考えられる。市としても、経済の発展等に有益と考えることから、商工会議所等と連携しながら、制度の周知・啓発を図っていきたい。（商工労働部長）

【質問項目】

- ▼富山広域連携中枢都市圏の形成
- ▼健康経営の推進
- ▼児童虐待防止対策

中小企業・小規模事業者の事業引き継ぎ支援

舎川 智也（自由民主党）



問 事業承継について、広く経営者にとっての重要性を知ってもらう必要があると考えるが、取り組みは。

答 国のガイドラインでは事業承継に早くから取り組む必要があるとしており、すでに商工会議所や金融機関等でその取り組みに対する支援を積極的に展開していると聞いている。市では、融資相談窓口等にパンフレットを配置するほか、資金に関する相談を行い、資金以外の相談には県事業引継ぎ支援センターを紹介している。今後、経済団体や金融機関等とも連携し、機会を捉えながら周知していきたい。（商工労働部長）

【質問項目】

- ▼空き家対策
- ▼中小企業・小規模事業者の事業引き継ぎ支援
- ▼神通峡地区における小中学校の通学路の安全確保

教員の健康管理と働き方改革

東 篤 (社会民主党議員会)



問 教員のストレスチェックを、全ての小中学校で実施すべきでは。

答 法律では努力義務とされている教職員50人未満の学校においてもストレスチェックを実施したいと考えている。



しかしながら、教職員数が少ない小規模な学校では、学校の状況に精通した産業医の確保や実施方法を調査審議する衛生委員会の設置などについて課題があることから、それらの対応について、検討しているところである。

(教育委員会事務局長)

【質問項目】

▼教員の健康管理と働き方改革 ▼公共交通の利用促進

富山のガラス

木下 章広 (日本維新の会)



問 ガラス美術館の今後の展望は。また、国内外へのアピールの取り組みは。

答 今後の展望や取り組みとしては、現代ガラスを中心に、国内外のガラス作家の作品を堪能できるさまざまな企画展の開催等に加え、国際公募展である「富山ガラス大賞展」を来年度以降、トリエンナーレ形式(3年に1度)で開催していく。

市としては、より多くの人に親しまれ、末永く利用される美術館となるよう、現代ガラス作品のみならず、ジャンルにとらわれない魅力的な展覧会の企画を検討し、美術館としての可能性を広げていきたい。(企画管理部長)

【質問項目】

▼「富山のガラス」 ▼防災・減災 ▼自殺対策

「放課後子ども総合プラン」の実施状況

島 隆之 (光)



問 教育委員会とこども家庭部が連携して、放課後子ども施策をどのように推進していくのか。

答 土日を中心に年間10日程度実施している子どもかがやき教室と、主に平日放課後、年間250日程度実施している地域児童健全育成事業では、対象児童や実施日時、実施主体等が異なることから、一体的に実施することは容易ではないと考える。今後、共同で設置している富山市放課後子ども総合プラン運営委員会で意見を聞きながら、引き続き効果的な事業運営について検討していきたい。(教育委員会事務局長)

【質問項目】

▼「放課後子ども総合プラン」の実施(計画)状況
▼いじめの実態・対策

学童保育の充実

赤星 ゆかり (日本共産党)



問 条例の最低基準の40人を大幅に超えている子ども会がある。指導員や施設の確保も含め、市が責任を持って必要な学童保育を整備すべきでは。

答 参入しやすい環境を整備することが行政責務であり、民業でやれるものは民業でということが基本だと考えている。その補助制度も設けており、放課後児童クラブを実施している事業者等にぜひ手を上げてほしい。気持ちや姿勢としては早く解消したいという思いであり、手が上がれば、しっかり応援していきたい。(市長)

【質問項目】

▼政務活動費の不正問題 ▼小中学校普通教室へのエアコン早期設置
▼堀川南小学校の増改築の早期実施 ▼学童保育の充実
▼市斎場の建て替え

ダブルケア支援

松尾 茂 (公明党)



問 育児と介護が同時に負担となるダブルケアの相談窓口を設置し、支援策を検討する実態調査をすべきでは。

答 地域包括支援センターや保健福祉センターにある子育て世代包括支援センターに相談があった場合は、連携や引き継ぎ等を行い、育児と介護が両立できるよう支援している。

30年度末までに高齢者や障害者、児童の福祉等に共通する事項を記載した「地域福祉計画」の策定に当たり、市民意識調査を実施する。その中にダブルケアの項目を設定し、実態の把握に努めていきたい。(福祉保健部長)

【質問項目】

▼終活支援 ▼観光施策とまちづくり ▼若者の就労支援
▼ダブルケア支援

防災拠点の機能充実強化

岡部 享 (社会民主党議員会)



問 マンホールトイレの設置について、どのように整備を進めていくのか。

答 29年9月の総合防災訓練における設置訓練を通じて、マンホールトイレの有効性が確認できた。今後普及していくためには、整備費用の低減や財源の確保等の課題について検討が必要だと考えている。学校の建て替えや、大規模改修等に合わせて施工するなどの工夫を行いながら、多数の避難者が想定される施設に対し、マンホールトイレの普及を検討していきたいと考えている。(建設部長)

【質問項目】

▼富山市職員の時間外勤務 ▼防災拠点の機能充実強化
▼特別支援学級 ▼通学路の安全対策

議会基本条例に関する議員研修会を開催しました。



議会基本条例に関する検討を進めるため、12月20日に明治大学 政治経済学部講師 廣瀬和彦氏、麗澤大学 経済学部教授 八木秀次氏を講師に迎え、「議会基本条例の意義、目的について」「議会基本条例の課題、問題点について」をテーマに研修会を開催しました。



研修会の様子

政務活動費の領収書等の証拠書類のインターネット公開を開始しました。

平成29年12月1日から平成28年度分および平成29年度4月分（改選前※）の領収書等の証拠書類のインターネット公開を開始しました。

※平成29年4月の議員の任期満了に伴い、平成29年度の政務活動費は、改選前の4月分と改選後の5月から平成30年3月分までの2回に分けて交付されます。

傍聴にお越しく下さい

市議会の本会議や委員会は、一般に公開されており、どなたでも傍聴することができます。

○本会議は、自由に傍聴することができます。（定員86人）

傍聴される方は、市役所東館8階の傍聴席入口で本会議傍聴申込書をご記入の上、お入りください。手話通訳を希望される方は、傍聴希望日の5日前（開庁日を除きます。）までにお申し込みください。



議場



傍聴席

○委員会は、各委員会の許可の上、傍聴することができます。

（定員10人）

傍聴を希望される方は、委員会開会日の午前8時30分から委員会開会時刻の15分前までの間に、議会事務局でお申し込みください。

傍聴席に入らなくても
8階の展望ロビーに設置された
テレビで、本会議の様子を
見ることもできます。

傍聴の際の注意事項

- ・私語や飲食など会議の妨害になることはしないでください。
- ・拍手など可否の表明はしないでください。
- ・写真の撮影、音声の録音はしないでください。
- ・携帯電話の電源はお切りください。
- ・帽子、コート、マフラーの類は着用しないでください。



傍聴席入口



市役所8階東館展望ロビー

ペロリッチクイズ

傍聴する時に、
着用できないものは何かな？
下の箱の中から
3つ選んでね！

- | | |
|-------|------|
| ①帽子 | ②コート |
| ③ネクタイ | ④メガネ |
| ⑤マフラー | |

注意事項をしっかりと守って入りましょう！わんわん！

答えは下にあるよ！

3月定例会から、ケーブルテレビで 議会中継放送が始まります。

ケーブルテレビ富山……生放送

上婦負ケーブルテレビ…生放送・録画放送※

※県議会との重複日の中継は、録画放送になります。



3月からケーブルテレビ
でも見ることが出来るよ。

ペロリッチクイズ【答】

①帽子 ②コート ⑤マフラー

行政視察報告

市政の課題や先進事例の調査を行うために、市内外への行政視察を行っています。視察後は、委員会ごとに報告書を作成し、本会議や委員会での質疑や提言に生かし、市政に反映していきます。富山市議会のホームページに、行政視察報告書を掲載しておりますので、ご覧ください。

建設委員会 (10月19日～20日)

- 【熊本市】・「平成28年4月熊本地震」に伴う被災状況と復興状況
- 【広島市】・「平成26年8月豪雨による広島市の土砂災害」に伴う被災状況と復興状況



熊本市での視察の様子

議会運営委員会 (11月8日～9日)

- 【呉市】・議会運営
・議会改革の取り組み
- 【倉敷市】・議会運営
・議会改革の取り組み



倉敷市での視察の様子

まちづくりと公共交通対策特別委員会 (11月20日～22日)

- 【札幌市】・市内電車のループ化
・札幌駅前の活性化
- 【旭川市】・乗合タクシー



札幌市での視察の様子

総務文教委員会 (11月10日)

- 【山室中部小学校】
・学校給食民間委託の実施状況



視察（給食試食）の様子

商工農林水産委員会 (11月27日)

- 【やまふじぶどう園】
・6次産業化の取り組み
- 【ベリー・ベリー・ヤミー】
・ブルーベリーのポット栽培
- 【株式会社農和】
・農業IT支援の取り組み



やまふじぶどう園での視察の様子

アンケートにご協力ください

今後の「とやま市議会だより」編集の参考にさせていただくため、アンケートを実施します。ご協力いただいた皆様の中から抽選でプレゼントをお送りします。

締切 平成30年2月28日（水）必着

プレゼント

ガラス美術館4月企画展ペア招待券と
ペロリッチのクリアファイル（非売品）
10名



〒930-8510

富山市新桜町7番38号

議会事務局 議事調査課あて

「とやま市議会だより」質問項目と回答

（FAX番号 076-443-2196）

問1 富山市議会の活動などの情報はどこで入手していますか。
（複数回答可）

- A 市議会だより B 市議会ホームページ
- C インターネット議会中継 D 新聞 E テレビ
- F その他（ ）

問2 「とやま市議会だより」で関心のある記事は何ですか。
（複数回答可）

- A 可決した主な議案 B 会派別賛否一覧
- C 委員会 D 一般質問
- E その他（ ）

問3 「とやま市議会だより」について、ご意見・ご要望を
ご自由にお書きください。

〒	—	年	—	月	—	日
ご住所			年齢			
ふりがな			連絡先			
お名前			(電話番号、メールアドレス等)			

応募方法

郵便、FAX、Eメールで回答いただけます。

- 【郵便】 回答・必要事項を記入し切り取り、ハガキにしっかりと貼り付けるか（ハガキに直接記入も可）、封筒に入れて、切手（ハガキ：62円、封筒：82円等）を貼って投函してください。
- 【FAX】 直接ご記入の上、FAX 076-443-2196まで送ってください。
- 【Eメール】 記入漏れのないようご確認いただき、下記まで送ってください。
gijityousa-01@city.toyama.lg.jp
- 【その他】 当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。アンケートの結果は市議会だよりで公表する予定です。住所・氏名・電話番号等はプレゼントを発送するため、年齢はアンケートを集計する際に利用するものです。

富山市立探偵課

皆様のご意見を待っています！

課長代理補佐
猫じゃらし・ニャー
ロック・三太夫



事務員
マチコ

編集後記

議会報編集委員会では、市民の皆様には、議会や議員の活動内容をわかりやすくお伝えするために活発な意見を交わし、「とやま市議会だより」の企画・編集に取り組んでいます。

今回初めてアンケートを実施します。皆様のご回答をお待ちしております。

議会報編集委員会

委員長	高田 重信	副委員長	松井 桂将
委員	松井 邦人	金谷 幸則	岡部 享
	木下 章広	舍川 智也	高田 真里
	高道 秋彦	小西 直樹	

次回は3月定例会です。